

第五次丸亀市行政改革プラン（案）の概要

1. これまでの行政改革の取組（1～3p）

これまで行ってきた行政改革の主な成果をまとめています。中でも、平成30年度から今年度まで取組を進めている第四次行政改革の主な成果として、次のことを挙げています。

- ・市税収納率の向上、新庁舎の整備による事務所機能の集約
- ・職員の意識改革・能力向上、審議会等委員の女性登用率向上
- ・住民票などについてコンビニ交付開始、市からの情報発信機能の強化

2. 第五次行政改革に当たっての課題（4～5p）

第五次行政改革に取り組むに当たっての課題を4点挙げています。

- (1) 持続可能で安定的な行財政基盤の構築
- (2) 行政のデジタル化
- (3) 市民等との行政との協働によるまちづくり
- (4) SDGsの推進

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、持続可能な社会を実現していくために、世界中のすべての人々で2030年までに達成を目指す国際社会共通の目標のこと。

3. 本市の状況（6～11p）

本市の状況を、人口の推移と将来予測、財政の状況、職員の状況、市民アンケートの結果などから示しています。

4. 第五次行政改革プランの基本事項（12～13p）

(1) 行政改革の方針

第五次行政改革では、すべての取組を次の方針により進めます。

DXや協働による市民サービスの向上

(2) 3つの分野からの行政改革の推進

- ①業務改善による生産性の向上
- ②民間活力の効果的な活用
- ③持続可能な財政基盤の確立

DX（ディー・エックス）とは、情報通信技術のさらなる活用により、人々の暮らしをあらゆる面でより良い方向に変化させること。

(3) 計画期間

令和4年度～令和7年度

5. 3つの分野の取組概要（14～33p）

1. 業務改善による生産性の向上

- (1) 業務のデジタル化
- (2) 窓口改善
- (3) 組織の最適化
- (4) 人材の確保と育成
- (5) 働き方改革

この分野では、限られた職員数で地域課題の増加や複雑化に対応していくため、市役所の仕事の仕組みや、やり方を変える業務改善を積み重ねます。

また、職員の能力向上、職場環境の整備などにより、生産性の向上を図ります。

2. 民間活力の効果的な活用

- (1) 情報の発信と共有の推進
- (2) 市民・地域との連携の推進

この分野では、民間の専門的知見との連携や、行政と民間との相乗効果が期待されることから、民間事業者や市民活動団体などの民間活力を効果的に導入し、共にまちづくりを進めます。

3. 持続可能な財政基盤の確立

- (1) 健全財政の推進
- (2) 受益と負担の公平性の確保
- (3) 公共施設マネジメントの推進
- (4) 公営企業等の健全経営

この分野では、将来にわたって持続可能な市民サービスを提供していくために、健全財政の監視により、安定した財政基盤の確立に努めます。